

講義実施キャンパスへの通学に関して

【ご意見・ご要望】(投稿日:2022年6月7日)

お世話になっております。

私は桂キャンパスとは異なるキャンパスに研究室があるため、桂キャンパスへ週の半分以上、講義への出席のためだけに通学しております。

そこで以下の二点に関してご検討いただきたく思いましたので、こちらのメールを差し上げました。

1. 阪急桂駅や四条河原町駅などから桂キャンパスへの通学バス(学生や教職員が無料もしくは京阪バス八坂バスより安値で利用できる)の設置

桂キャンパスで販売している10枚綴りの切符があることは存じていますが、有人レジかつ現金でしか買えないという制約があります。そのため、クラスターの異なる講義室を移動したり研究室へ移動するためのバスに乗ったりしていると、大変購入しにくいです。また、学生や教職員が大勢利用する時間には大変混み合うためそのほかの利用者(近隣住民の方)も含め不自由を感じる事が大半です。

更に1.2限の講義に間に合うためのバスは雨の日以外でも遅れることが多々あること、京阪バスのピタパ利用額割引がなくなったことなどを踏まえると、学内外双方のために、上記の設置は有用だと思います。特に私含め経済的に厳しい状況に置かれている学生にはありがたいです。

2. 利用額割引や定期券に準ずる提携サービス

1で挙げたような割引券を購入して乗車する場合、乗車時に整理番号が印字された紙を取る必要があります。ペーパーレス化の流れと逆行しているようにも感じるため、ピタパやICOCAを利用してこれらの割引を受けられるようにしていただけると経済的にも助かります。

京阪バスのフリー定期券区間に洛西地域が含まれていないこと、定期割引額が減少してより利用しづらくなったことから、上記のように私は考えました。

以上二点、お忙しい中恐縮ですが何卒ご対応よろしく願いいたします。

【回答】(回答日:2022年6月22日)

(回答部署:桂地区(工学研究科)事務部)

ご意見ありがとうございます。

1. 阪急桂駅や四条河原町駅などから桂キャンパスへの通学バスの設置について

通学バスについては、大学の経費負担や公共交通機関との競合(路線バス利用者の減少)などの影響が大きいため導入は困難です。

一方で、本学の吉田・宇治・桂の各キャンパス間の移動については、従前より連絡バスを運行し、学生・教職員の利便性の向上に努めているところです。

また、生協でのバス回数券の購入についてはご不便をおかけしております。回数券は換金性の高い商品であること、バーコードがないなど無人レジでの取扱いが難しいことなどから、有人レジ・現金(またはプリペイド)による購入に限定しています。

2. 利用額割引や定期券に準ずる提携サービスについて

公共交通機関による割引制度の取扱いについては、バス会社等の経営判断によるところが大きく、本学からは回答できません。